



本であります。
国は「北海道庁やJR北海道と密接に連携し、夏ごろまでに大まかな方向性について取りまわめてまいりたい」との考えを示しており、北海道においては、3月に策定した北海道交通政策総合指針にもつき、それぞれの線区の特性を踏まえ、地域における検討・協議を進めていくことであります。
鉄路の見直し問題につ



いては、JR北海道の徹底した経営努力を前提に、国の実効ある支援が必要であることから、本市としても関係市町村や団体と連携・協力しながら、鉄路の維持・存続に向けて全力で取り組むと考えてあります。
現庁舎は、建設後48年が経過し、施設の老朽化が目立ち耐震性も欠いて

庁舎などの建て替え

おり、市民の利便性に多くの課題を抱えております。また、文化会館についても建設後46年が経過し同様の状況にあります。新たな庁舎は、市民参加のもと市民が利用しやすい、人や環境にやさしく、さらに、文化会館機能を複合化することで経費節減を図り、機能性・効率性・経済性の重視とともに、防災拠点として災害に強い庁舎へ建て替えるための具体化を進めてまいります。
なお、国は耐震化未実施の庁舎建て替えについて、緊急性があるとの判断から、「市町村役場機能緊急保全事業」を創設し、平成32年度までの早期に実施する事業に対して財政支援を行なうこととしております。

写真上
昭和44年建設の市庁舎
写真下
昭和46年建設の文化会館



特集2
平成30年度 市政に関する所信表明

6月18日に開会した平成30年第2回富良野市議会定例会で、北市長が市政運営に向けて、所信表明を行いました。

企画振興課 39-2304

私は4月22日に行われました市長選挙におきまして、有権者の厳粛なる信託を受け、第5代富良野市長として市政を担うことになりました。ご支援とご協力を改めて感謝申し上げます。ご成果たすへき職責の重さを認識し、市民のみならず、市政運営に全力で取り組んでまいります。
富良野市は、盆地や山間の中にあつて多様な生活や文化が育まれ、さまざまな暮らしと環境が織りなす多様性に富んだ地域の集合体であり、地域の持つ多様な個性・環境・資源を大切にしながら、将来に希望の持てるまちづくりを進めていかなければなりません。
人口減少や少子高齢化、働き手不足や鉄路の見直し問題など市政の課題は山積し、限られた財源の中で、的確な政策選択と安定した市政運営が求められております。
私の市政に臨む基本姿

勢は、「すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らし、幸せが実感できるまちづくり」であり、公民連携による市民が主役のまちづくりにまい進してまいります。
ここで、本市の将来を展望するうえで、早急に取り組まなければならない喫緊の課題について、私の考えを述べたいと存じます。

鉄路の見直し問題

JR北海道は平成28年11月、当社単独では維持することが困難な線区として10路線13線区を発表し、その中には根室線と富良野線が含まれております。
鉄路は、通学や通院の移動手段として地域住民の生活の足を支えることも、農作物の貨物輸送や観光による地域経済の活性化を進める上においても、北海道の将来に関わる極めて重要な社会資

第5次富良野市総合計画

第5次富良野市総合計画は、「安心と希望、協働と活力の大地」を未来像に掲げ、平成32年度までの計画的なまちづくりを進めてまいります。総合計画の5つの基本目標について、私の基本的な考えを述べさせていただきます。

基本目標1

次代を担う子どもたちをみんなで育むまちづくりに、家族化の進行とともに核家族化の進行とともに



JR富良野駅の跨線橋から望む普通列車

や教育力、老後の介護など家族が本来有している機能が低下していると言われおります。子どもの人間形成の原点は家庭にあるとの認識から、家庭力の向上に努めてまいります。
結婚から妊娠・出産・子育て・保育・教育と子どもに関わる行政サービスを公平に提供することともに、包括的で切れ目のない子育て・教育環境を整え、「子育てするなら富良野市で」と発信できるまちづくりをめざしてまいります。

市役所庁舎建設基本構想を策定しました ～新庁舎建設に向けた検討が本格的にスタートします～

市役所庁舎建設基本構想は行政情報コーナー（市役所、図書館、山部支所、東山支所）、市ホームページで閲覧できます。

現在の庁舎は、昭和44年に建設され48年が経過し、老朽化により耐震性が不足するとともに、狭隘化により市民が利用する窓口が保健センターや図書館などに分散し、さらに、エレベーターもないなど市民の利便性に多くの課題を抱えています。

このため、市では平成24年度から庁舎建替の準備を進め、経済性の観点から同じく老朽化や耐震性が

不足する文化会館との複合化を含め検討し、このほど新庁舎建設の基本方針や求められる機能などをまとめた「富良野市庁舎建設基本構想」を策定しました。今年度は、市民の皆さんと情報を共有し、意見を聞きながら、この基本構想を基本的な指針として、より具体的な検討を行い、基本計画の策定を進めます。

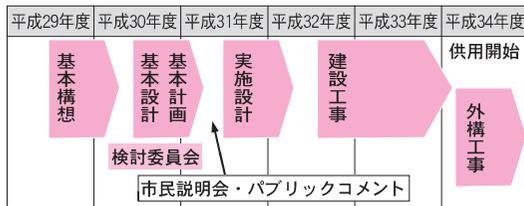
◎財政課 ☎39-2306

庁舎建設基本構想の概要（庁舎と文化会館の複合化）

新庁舎の基本方針

- 1. 防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎**
防災・災害対応の拠点として、免震及び耐震性能を確保した安心安全な災害に強い庁舎
- 2. 市民が利用しやすい庁舎**
行政サービス提供の拠点として、分散化している行政機能を集約し、市民の利便性に優れ、わかりやすい開かれた庁舎
- 3. 人や環境にやさしい庁舎**
バリアフリーやユニバーサルデザインの視点を取り入れ、すべての人が利用しやすい庁舎とするとともに、省エネ・省資源を取り入れた環境負荷の少ない庁舎
- 4. 機能性・効率性・経済性を重視した庁舎**
多様化する行政需要に対応し、将来の変化に柔軟に対応できる機能性と、維持補修や設備更新などがしやすい管理運営上の効率性や、ランニングコストを抑えた経済性を重視したシンプルでスマートな庁舎
- 5. 市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎**
文化会館と複合化することにより、市民が気軽に訪れて集える場として、市民の活動を支援し、交流や憩い、まちづくりを考える協働の場として、行政情報や市民活動の情報を積極的に発信する庁舎

事業スケジュール



新庁舎の規模や事業費などは、基本計画及び基本設計の段階で最終的に決定します。

現在の庁舎の課題

- 施設・設備の老朽化
- 耐震性の不足
- 省エネ・バリアフリーなどへの対応
- 行政事務スペースの狭隘・窓口の分散化
- 市民の利便性と市民活動支援



市役所庁舎
(昭和44年建設)

新庁舎の概要（想定）

規模	8,200㎡～9,800㎡
位置	現在の庁舎位置
事業費	およそ58億円
完成年度	平成34年度予定

これまでの背景と検討経過

年度(平成)	内容
23年3月	東日本大震災
24年度	庁舎等施設整備検討委員会で検討 庁舎等施設整備基金設置
25年度	庁舎・文化会館部会で検討
27年度	公共施設等総合管理計画策定
28年4月	熊本地震
29年度	国の財政支援 市町村役場機能緊急保全事業債創設（平成32まで） 公共施設等総合管理計画推進検討委員会で検討
30年度	庁舎建設基本構想策定

ふらの沿線スポットフェスタ
ノルディックウォーキング
とき 7月14日(日)
午前9時15分～正午
ところ 占冠村役場前集合
コース 占冠村役場前を出
発し、水源地まで約5キロ
の村道を歩きます。※一部
砂利道があります。
参加料 無料
定員 先着50人
参加対象 富良野沿線に住
んでいる小学生以上、5
キロ程度の歩行ができる方
(小学生は保護者同伴)
申込み 7月10日(火)までに
電話で申し込みください。
持ち物 飲み水、リュック
ザック、着替え、雨具、熊
鈴、ノルディックウォーキ
ングのポールを持参してく
ださい。希望者にはポール
を貸し出しますので、申し
込み時に連絡ください。
※少雨決行。荒天時は当日
の朝、午前7時まで電話
で中止の連絡をします。
◎市民協働課
☎39-23011

募集

◆富良野市環境審議会委員
【4人以上】
審議内容
環境基本計画 環境の保
全及び創造に関する基本
事項の調査審議など
任期 8月21日～平成32
年8月20日(2年間)
応募資格
①市内に居住している方

または働いている方
②審議内容に関心のある方
③年間数回の審議会に参加
可能な方
◎申込方法
所定の申込書に必要事項
と希望する理由を記入して
直接または封書、FAX、
電子メールで提出してくだ
さい。
※申込書は、市ホームページ
上、または環境課で配布
◎募集期間
7月12日(火)～8月13日(月)
◎選考方法
応募者の中から

選考委員会にて選考します。
※書類(申込書)による選
考のほか、必要に応じて面
談などを実施する場合があります。
報酬 日額5,500円
半日額2,750円
費用弁償 交通費を実費支
給(片道5キロ以上)
◎環境課
☎39-2308
23-1313
@city.turano-hokkaido.jp

市・道営住宅入居者募集

住宅名		建築年 間取り	戸数
一般世帯 向け住宅	瑞穂団地 (瑞穂町7番)	平成6年 3LDK	1戸
	北の峰団地 (北の峰町27番)	平成14年 2LDK	1戸
	しらかば団地 (錦町8・10番)	平成10年 3LDK	2戸
一般世帯 向け住宅 (単身入居可能)	東山団地 (東山市街)	昭和52年 3DK	3戸
高齢者等世帯 向け住宅 (高齢者等単身入 居可能)	朝日町団地 (朝日町2番)	平成19年 1LDK	1戸

受付期間 7月2日(月)～13日(金)
入居資格
①現に住宅に困窮している方
②税金の滞納がない方
③収入が基準以内の方
④申込者（その同居者、同居しようとする親族を含む）が暴力団員でないこと
家賃 入居する方の収入により決まります。
申込み 都市建築課にある申込書に記入し、必要な書類（収入を証明する書類など）を添えて提出してください。
◎都市建築課 ☎39-2316

開催中
ニングルテラス
遊び展
『いきものたち』
出展者募集
◎新富良野
プリンスホテル
☎22-1111

今月の
倉本聡プライベートライブラリー
富良野やすらぎの刻
千本にも及ぶ倉本ドラマの真髓を
倉本 聡 本人の口から語られる至
福のひとつとします。
第十三夜 7月20日(金) 午後7時開演
ところ 富良野演劇工場 (入場無料)
申込み 電話で申し込みください
◎富良野演劇工場 ☎39-0333